

地域連携センター便り

上越総合病院 地域連携センター

〒943-8507 上越市大道福田148-1 新年号 (2012.1)



新年のご挨拶

病院長 外山 譲二



新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。昨年は東日本大震災や水害など大変な1年になりました。今年は辰年ですが、龍が昇るがごとく上昇の良き年になるように願っております。東日本大震災では、上越地方でも多くの避難民を受け入れました。重症患者の受け入れや避難所への巡回診察、その後の数度に及ぶ救援隊の派遣など、救急病院として貴重な体験をしました。さらに救急災害対策に力を入れなければとの思いを痛感しました。今年は、4月に診療報酬と介護保険の同時改定が行われます。何とかマイナス回答はなさそうですが、地方の中小病院が多い厚生連病院では、慢性期、亜急性期患者の入院については、必ずしも良くなれないだろうと言われており危惧しております。TPPの問題は、私どもはJAが母体でありわが国の農業への心配もさることながら、医療関係者にとっても、国民皆保険の崩壊の危機だけでなく、いわゆる経済的に弱い人たちへの配慮が消えていくのではとの心配があります。これらの問題で、今年はいったいどのように変わっていくのか、大変予想が難しくなっていますが、私たち医療関係者は、一丸となって結束をして、地域の皆様に出来るだけ悪影響が出ないようにしていかなければなりません。そのためには、医師会、病院群、行政、福祉施設などの連携を一層深めていく年にしたいと思っております。上越総合病院は、救急災害対策、少子高齢化対策、がん診療、予防医学(保健)の4つの目標を掲げ、地域に密着をした、地域に貢献する病院として、今年も精一杯頑張る所存でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

医療機関様からのご紹介・お問い合わせは

地域連携センター

電話 025-524-3000(代表)

FAX 025-524-3140 まで





副院長 本間 憲治



新年明けましておめでとうございます。平成18年4月に移転新築開業以来6年目の新年を迎えました。放射線治療棟の増設・老健施設「アルカディア上越」の建設・健診センター・生殖医療センター・神経難病リハビリセンター・化学療法センター・ICU・ナイトベッドの増設等、予定されていた追加工事がすべて終了いたしました。小生が赴任した当時とは比べ物にならないほど重装備を搭載した航空母艦のような病院に変身しました。さらに、放射線治療棟に動体追尾装置を導入し、呼吸性移動下でも安全・的確に照射できる体制を整えました。本格稼動までにはもう少し時間がかかりますが、肺癌・肝癌の治療に大きく貢献できると思います。頭頸部癌や前立腺癌はもちろん、最近では腹膜播種を伴う高度進行直腸癌症例に術前放射線化学療法を行い根治手術できた例や大動脈周囲リンパ節転移が消失した例も経験し、放射線治療の進歩は目を見張るものがあります。これらすべての設備を有効に活用すべく職員一同がんばってまいりますので本年もなにとぞよろしく御願い申し上げます。最後に私事で恐縮ですが、小生、3月末に定年退職することになりました。先生方には30年の長きに渡りご指導、ご鞭撻を賜り誠に有難うございました。先生方のご健康と益々のご活躍を祈念しご挨拶とさせていただきます。



副院長 籠島 充



あけましておめでとうございます。震災の復興も進まぬ中、報道では何かと喧しい新年のスタートのようです。私たちが何をしたいかということよりも、この国の富や進路によって医療のあり方が決まる時代になったという感を強くします。これからは社会保障費に限らず、時間や労働力も含めて、限られた資源を有効に使いながら、社会的インフラとしての医療を守ってゆかなければなりません。もとより容易な道ではなく、ますます医療連携、地域連携の必要性が高まってゆくことでしょう。その点、当院にはまだまだ至らぬ点が多いことと存じますが、ご期待に沿えるよう努力を続けてゆく所存です。先生方には上越総合病院に対してより一層のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。最後に、今年一年のご多幸をお祈りして、新年の挨拶を終わりたいと存じます。

医療機関様からのご紹介・お問い合わせは

地域連携センター

電話 025-524-3000(代表)

FAX 025-524-3140 まで



事務長 高橋 茂



新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。昔から卯年は災害の多い年と言われてきましたが、去年は深刻な自然災害が各地で発生し大変な年となりました。しかし、日本人も、まだまだ捨てたもんじゃないと再認識する年でもありました。被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。さて、当院では関係各位のご協力を賜り昨年2月に健診センターを拡充し、さらに10月に集中治療病棟(10床)・生殖医療センター・外来化学療法センター・神経難病リハビリセンターを開設いたしました。今回のこれらの施設開設は、広がる患者様のニーズにお応えしたものです。これにより移転新築時当初の目標とした、①救急災害対策 ②少子高齢化対策 ③予防医学に加え、さらに死亡原因第1位の「がん」対策の充実を図ってまいりたいと思います。これからも、良質な医療を提供し、地域に貢献する病院でありたいと願っております。本年もご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。最後に、昨年一番心に残った、被災地での卒業式答辞を載せたいと思います。

「階上(はしかみ)中学校と言えば防災教育と言われ、内外から高く評価され、十分な訓練もしていた私達でした。しかし、自然の猛威の前には人間の力はあまりにも無力で、私達から大切なものを容赦なく奪っていきました。天が与えた試練というにはむごすぎるものでした。つらくて悔しくてたまりません。しかし、苦境にあっても天を恨まず、運命に耐え、助けあって生きて行くことがこれからの私達の使命です。」

看護部長 佐藤 順子



「今年こそ明るい一年でありますように」と祈りを込めてスタートした新年。去年は世界史上類を見ない大災害を経験し日本中が多くのことを考え学んだ一年でもありました。命の尊さ、儚さ。人の温かさ、愚かさ。若者の純粹さ、ふるさとへの思い。さまざまなニュースや報道を聞くたびに地域に生きることの大切さを改めて思わずにはいられません。地域医療を担う当院としても、H21年に放射線治療、H22年、老人保健施設「アルカディア」の開設、H23年2月健診センターの拡充、10月からの集中治療病棟の開設、化学療法センター・生殖医療センター(不妊内分泌外来)の充実等すべての整備が完成しました。今年、当院を利用される皆さまによりよい病院として、再スタートの年と思いを新たにしております。看護部としても昨年20名という厚生連一の新人を迎え早一年が経ちます。それぞれ現場で頑張り、成長している姿を見るにつけ感慨深い思いがあります。この4月には先輩として、より成長した看護師として皆さまにお会いすべく頑張っております。看護部の理念「やさしい看護」と地域の皆さまとの「きずな」の大切さを胸に努力してまいります。より一層のご支援、ご指導の程をよろしくお願いいたします。

ICU師長 栗崎 裕子



院内外の皆様のご協力のもと、新しい病棟「集中治療病棟」が昨年10月にスタートしました。私はこの病棟の立ち上げに関わるにあたり、ふたつの合言葉をスタッフに示し、準備を始めました。

- ①自分が今まで経験した事を持ち寄って、新しい病棟作りを盛り上げよう！
- ②時間があれば(合えば)、皆でコミュニケーションをとり、楽しい病棟作りを盛り上げよう！

スタッフ1人ひとりが今までの経験を活かし「新しい職場作り」に積極的に関わり、活気ある職場になることが、患者様を元気にできているからです。この4ヶ月の入室傾向として、脳神経外科の全身麻酔術後患者・脳卒中の重症例、循環器疾患で集中治療が必要な患者、呼吸器管理、リスクがあり術後管理が難しいと思われる各科術後患者様などが多く入室されました。また病棟内には「ナイトベッド」を設け、夜間休日等の救急外来からの要観察者の受け入れも行っています。救急科部長の丸山先生を室長に、各科の主治医の先生・臨床工学技士・看護師・補助員がスクラムを組んで、皆で一生懸命に患者様のケアにあたってきました。看護師スタッフは、経験豊富なベテランからフレッシュな若手まで、急性期・慢性期、担当科は限定せず、院内の様々な部署から集まりました。当病棟は主治医制をとっていますので、各科疾患への対応などは今までの経験知識を活かし、活躍してくれています。慣れない環境下で戸惑うことも多いと思いますが、皆で智恵を絞りあって毎日奮闘しています。これからも1つ1つの症例、1人ひとりの患者様との出会いを大切に、地域の皆様のために、皆で元気いっぱい！頑張っていきたいと考えております。



丸山先生を講師に学習会

医療機関様からのご紹介・お問い合わせは

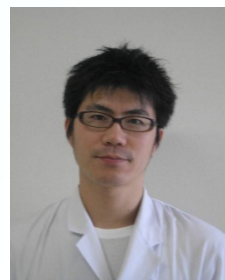
地域連携センター

電話 025-524-3000(代表)

FAX 025-524-3140 まで



外来化学療法センター



薬剤部 渡辺 一也

当院では点滴注射の化学療法を受ける外来の患者様に、安全で快適な環境で治療が受けられるよう、昨年10月3日より外来化学療法センターを開設いたしました。化学療法センターにはリクライニングチェア9台、ベッド16台の全25床あります。今後、その1台ごとにテレビを設置し、より快適な環境設備を整えていくところです。現在の対象科は乳腺外科・消化器外科・消化器内科・呼吸器内科・泌尿器科となっています。利用時間は9時から17時です。主治医と専任の看護師・薬剤師により治療のサポートをおこなうことで、抗がん剤による副反応へ迅速に対応できる環境となっています。抗がん剤の調製に関しては、当センターに付随する調剤室にて専任の薬剤師が無菌的におこなっています。安心して治療をお受け下さい。また化学療法の実施や副作用についてのパンフレットをご用意してあります。不安やご質問についてはお気軽にご相談ください。今後、上越地区でのがん治療の一翼を担っているという自負を持てるよう化学療法センタースタッフ一同日々努力していく所存です。



ご不安・お困りのこと等ある患者様・ご家族様のための
化学療法相談室が完備されています。



新年から、早1ヶ月が過ぎました。今年も雪が多く、寒い毎日ですが、元気で過ごしたいと思います。本年もよろしく
お願い致します。

編集後記

医療機関様からのご紹介・お問い合わせは

地域連携センター

電話 025-524-3000(代表)

FAX 025-524-3140 まで



上越総合病院 診療科 担当医師

内 科	呼 吸 器	外 山 讓 二
	呼 吸 器	小 原 竜 軌
	呼 吸 器	諸 橋 数 昭
	呼 吸 器	岡 島 正 明
	消 化 器	武 井 伸 一
	消 化 器	合 志 聡
	消 化 器	小 野 知 巳
	消 化 器	古 川 真 一
	腎・糖尿病	亀 田 茂 美
	腎・糖尿病	小 川 麻
循 環 器 内 科		箆 島 充
		星 野 和 夫
		吉 江 幸 司
神 経 内 科		福 原 信 義
		鈴 木 隆
小 児 科		上 村 孝 則
		土 谷 修 一
		佐 藤 紘 一
外 科		本 間 憲 治
	乳腺外来	藤 田 亘 浩
		小 出 則 彦
		宮 澤 智 徳
脳 神 経 外 科		江 塚 勇
		荒 川 泰 明
		杉 原 崇 大
産 婦 科		相 田 浩
	生殖医療センター	菅 谷 進
		廣 井 威
		岡 田 潤 幸
		山 脇 芳
耳 鼻 咽 喉 科		坪 田 雅 仁
眼 科		佐 藤 昭 一
		藤 田 和 也
整 形 外 科		松 本 峰 雄
皮 膚 科		土 屋 和 夫
泌 尿 器 科		里 見 定 信
救 急 科		丸 山 正 則
放 射 線 治 療 科		江 部 和 勇
病 理 検 査 科		巻 淵 隆 夫
歯 科 口 腔 外 科		桑 原 徹
歯 科		服 部 心 み